



先日、インターネット検索をしていた時に、偶然目にした文章がとても印象的でした。

心学研究家の小林正観さん(故人)は、ある時、この宇宙を貫く一つの法則に気づきます。「ありがとうの法則」——「ありがとう」という言葉を口癖のように唱えていると、自分でも信じられないような出来事が起き、健康ばかりか運命までも好転していくというのです。現在ある言葉の中で、最高の影響力を持った言葉は「ありがとう」の5文字でしょう。

ここに、どのような時も「ありがとう、ありがとう、ありがとう」と繰り返し、繰り返し唱えている人がいるとします。するとその人は、言葉の波動を受けて体内の水や血液が再生し健康体になります。精神も豊かになり、人間関係も円滑になってきます。そして、「ありがとう」の数がある一定の数を超えた場合、奇跡としか言いようのない現象となって、その人に降り注ぎます。「ありがとう」を宇宙に発し続けていれば、「ありがとう」と言わざるを得ない現象を次々に招きよせてくれるのです。

しかし、いきなりこういう切り口から話を始めても、否定的に受け取る方もおられるでしょう。世の中には多くの宗教があり、精神世界の不思議を説いているからです。しかし、最初にはっきりさせておきますが、私は宗教者でもなければ、いかなる宗教団体に所属したこともありません。30年来超常現象や人間の潜在能力に関心を抱き、その因果関係を研究してきました。一つの現象が仮定された場合、何度も実証を重ねて、客観的な事実として確認する、という作業を繰り返して宇宙法則にたどり着きました。

「ありがとう」という言葉の力を調べるために、次のような実験を行いました。2つのペットボトルを準備し、1つには「ありがとう」、もう1つには「ばかやろう」と書いて東京都の水道水を入れます。一晩置いた水を凍らせて結晶を撮影すると、「ありがとう」と書いた水道水だけに、宝石のような美しい結晶ができるのです。一方の「ばかやろう」と書かれたほうは、かわいそうなくらい無残に変形します。いろいろな水を使って実験を繰り返しましたが、結果は一緒でした。

(月刊『致知』2003年1月号 特集「言葉が運命を拓く」より一部抜粋・編集し引用)

「ありがとう」という言葉のパワーに驚きを感じるとともに、「本当かな？」という気持ちも隠しきれないのが本当のところです。しかし、高等部の後期産業現場等における実習が終わり、実習を引き受けてくださった企業、事業所の皆様や、保護者の皆様のご協力に感謝しています。生徒たちにとって、今回の実習が宝石のような美しい結晶となってそれぞれの進路選択に奇跡のようなパワーを与えてくれたことと思います。本当にありがとうございました。

